

会議名	H30年度第5回理事会 議事録	文責	五木田
開催日時	2019年03月31日（日曜日） 14時20分～16時45分		
場所	横浜市民防災センター研修室		
出席者 (敬称略)	鈴木会長、川畑副会長、五木田副会長、松永理事、沢田理事、山岸理事、内田理事、橋場理事、小野寺理事、宇田川監事、日暮監事 欠席者：斎藤顧問、薄井顧問		
<p><b>▼議題</b></p> <p><b>(1) 事業報告・事業計画（案）の検討（総会資料関連）</b></p> <p><b>(2) 会計報告・予算（案）の検討（総会資料関連）</b></p> <p><b>(3) 再免許申請について</b></p> <p><b>(4) その他</b></p> <p>1) 活動内容と本部規約の相違（日暮監事）</p> <p>2) 電波伝搬調査について（内田理事）</p> <p>3) 功労賞で前斎藤会長を表彰する事について</p> <p>4) 東海大文化社会学部広報メディア学科取材報告（報告者：川畑副会長）</p> <p>5) 横須賀市アマチュア無線非常通信連絡実行協議会との交流（報告者：鈴木会長）</p> <p>6) 保土ヶ谷区の事項について</p> <p>冒頭、鈴木会長より再免許申請の件に関して18支部と市役所局の提出書類のチェックが無事完了した事。総会用の資料となる会計監査に関しても滞りなく無事完了したとの報告があった。また、斎藤顧問と薄井顧問から理事会を欠席するとの連絡があった事が報告がなされた。続いて議長は小野寺理事、書記は五木田が指名され討議に移った。</p> <p><b>(1) 事業報告・事業計画（案）の検討（総会資料関連）</b></p> <p>事業報告に関しては単に読み上げるのではなく重点ポイントを説明する形式で報告を行う（鈴木会長）</p> <p>和暦表示にするか西暦表示にするか、または両方の併記表示にするかの討議が行われた。結論としては役所に対しての書類の受け渡しは和暦で行い、その他は西暦表示で行う事となった。本部内資料に関しては4月1日からは西暦を使用する。</p> <p>事前に配布されている総会議事次第（当日、配布用）と総会議事次第（関係者用）の説明が五木田理事よりなされ下記、総会の流れを確認しながら同時に担当者（役割分担）を決定した。</p>			

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 来賓のご挨拶
4. 議長の選出
5. 書記の選出
6. 総会成立の報告
7. 議案の審議および報告
8. 閉会の辞

決定した担当者（役割分担）は下記に示す。

司会：五木田理事、議長：山岸理事、書記：内田理事、小野寺理事  
尚、書記については支部長（1名）にも担当して戴く（担当：五木田理事）

#### （2）会計報告・予算（案）の検討（総会資料関連）

橋場理事より会計報告・予算（案）について説明がなされた。

特に質問もなく報告は終了した。

監査報告に関しては宇田川監事から事前検討結果が報告され監査が問題なく完了したとの報告がなされた。

#### （3）再免許申請について

沢田理事より18支部の区役所局と市役所局の再免許申請が複写も含めて全部揃いましたので原本を送付する手続きに移るとの報告がなされた。

送付手続きに関しては市役所を訪問する日程は現在調整中ですが4月15日ないしは16日に鈴木会長と川畑副会長が訪問して市役所が準備する書類（送信用封筒、返信用封筒、収入印紙、切手等）を確認した後に送付手続きを行い投函となる予定。

#### （4）その他

##### 1）活動内容と本部規約の相違（日暮監事）

本部の活動内容と規約での取り決めが乖離している点に関して日暮監事より指摘があり、日暮監事が準備した資料を例にして相違点の説明がなされた。（相違点の細部は割愛いたします）

本件に関しては、今後、日暮監事の提案を理事全員が共通の認識を持ち本部活動を行い来年度以降も今後の課題として継続して審議する事になった。

## 2) 電波伝搬調査について (内田理事)

今年の電波伝搬調査は第一候補に7月20日(土曜日)、第二候補に7月13日(土曜日)で市役所にお伺いを立てる。調査の時間は支部長会で要望が有った午前中の10時00分~12時00分迄に実施する様に市役所に依頼する。市役所に提出する「お伺い書」に関しては6月の市役所に訪問する際に持参できるように内田理事が準備する。

## 3) 功労賞で前斎藤会長を表彰する事について

会の運営に長年に渡り貢献した事に関して斎藤前会長を功労賞で総会の場で表彰する事となった。表彰状は五木田理事が準備する。

## 4) 東海大文化社会学部広報メディア学科取材報告 (報告者: 川畑副会長)

上記メディア学科が3月11日に放映するテーマ:「命を守る」のビデオを制作する際に取材調査の為本部・HPを閲覧した。その後松永理事にコンタクトが有り、具体的な取材協力が行われた。打合せは平塚キャンパスで行われ、当本部からは鈴木会長と川畑副会長が参加して詰めの協議が行われ泉区支部で行われた防災訓練(1月20日: 領家中学校、1月27日: 岡津小学校)の取材に繋がった。この取材したビデオは3月11日: 東日本大震災特集にて神奈川県下8ケーブルネットワークで放映された。今後も本部としては同様な活動を継続して行く。

## 5) 横須賀市アマチュア無線非常通信連絡実行協議会との交流 (報告者: 鈴木会長)

上記、協議会は片倉さんが会長を務めている。

2月10日に同上・総会と、その後に行われた相模原市役所局と横須賀市危機管理室の講演会が有り拝聴した。横須賀市の特徴としては面積が横浜市のひとつの区ぐらいで有る点、防災倉庫は浸水の恐れが有るので2階以上に設置している点、組織化が行き届いている点が特徴。

相模原市役所局は大所帯で、非常通信協力会の様な組織は無い。3.11に際しては大船渡に相模原市役所から2、3名がアマチュア無線機器を持参して派遣された。

その際に無線通信は地形の関係でHF帯の7MHzを使用して行われ大船渡と相模原との交信も十分できたのでHF帯使用の重要性が再認識された。

3. 11でHF帯が有効だったとの事例は関西を経由して岩手、宮城と交信した事例と関西を経由して県庁と交信した事例がある。

6) 保土ヶ谷区の事項について

例年8月下旬の土曜日、日曜日（2日間）の2日間におこなわれる横浜防災フェアに関しては予定通りに出展する。

保土ヶ谷区支部とは五木田理事が田村支部長と連絡をとり打合せを実施して、下記の依頼を行う。この打合せには鈴木会長も同席する。

- ・ 昨年11月ごろに実施したと思われる代表者変更
- ・ 書類一式のコピー（変更申請書、工事設計書、代表権移譲同意書、構成員等）。
- ・ 会員名簿の報告データ（Excel）が4月20日締切に完了することの確約。
- ・ 5月26日総会出席（代議員2名含む）の依頼。
- ・ 保土ヶ谷区支部活動の活性化依頼。 その他、等

以上